

# さいたまシルバー



## 迎春

### Contents

- 2 理事長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 上半期事業実績
- 6 各種講習・研修
- 8 会員紹介
- 9 お客様の声
- 11 地域班
- 12 親睦互助会
- 14 女子会だより
- 15 安全だより
- 16 事務局より・編集後記

見沼の花づくり

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**

〒330-0801

埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1

さいたま市大宮ふれあい福祉センター内

Tel: 048-669-0303

Fax: 048-669-0305

<https://saitama-sjc.or.jp/>

さいたま市シルバー

検索





# 新年の御挨拶

公益社団法人

さいたま市シルバー人材センター  
理事長 佐伯 鋼兵

新年、あけましておめでとうございます。

会員の皆様ならびに関係者の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

旧年中は、当センター事業運営につきまして、格別の御支援と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年为社会情勢を振り返りますと、2月に起こったロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、世界情勢は不安定となり、国民生活には物価高など、大きな影響が出ています。

また、新型コロナウイルス感染症の流行は、昨年も拡大と縮小を繰り返しておりました。今後とも手指消毒、身体的距離の確保など基本的な感染対策の徹底を改めてお願いいたします。

このような社会状況下で、令和4年度上半期の当センターの事業実績は、契約金額前年比 99.2%と、前年度に比べほぼ横ばいながら減少してしまいました。今後とも役職員一丸となって会員の皆様の就業機会の確保に努めてまいります。

さて、話は変わりますが令和4年度は第2次中期計画（平成30年度～令和4年度）の最終年度であります。第2次中期計画の終了を受け、令和5年度を初年度とする第3次中期計画（令和5年度～令和

9年度）の策定に向けて、昨年1月には中期計画策定委員会が立ち上げられ、以来1か年にわたり、この5年間の事業の検証と評価を行い、残された課題や新たな課題等に適切に対応するため組織の中核を担う会員等の意見を踏まえ、検討を重ねてまいりました。

計画の詳細につきましては、本年1月の理事会で計画が承認されましたら、計画書を作成し各事務所に配置するとともに、概要版を作成し、会員の皆様に配付する予定です。また、冊子版はホームページでも公開する予定です。

今後は、この計画を新たな5年間の指針として、魅力あるさいたま市シルバー人材センターを目指し、計画の実現に向け取り組んでまいりますので、会員の皆様、関係各位のより一層の御指導御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びになりますが、会員の皆様ならびに御家族の皆様の御健勝と御活躍を願い、また新しい年が皆様にとって幸多き素晴らしい一年となりますことを祈念し、年頭の御挨拶とさせていただきます。



# 新年の御挨拶

さいたま市長 清水 勇人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃からさいたま市シルバー人材センターの皆様方には、市政全般にわたる格別の御協力と御支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年、本市は2050年二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）の実現に向けた取組の提案が評価され、全国初となる「脱炭素先行地域」に選定されました。市制の施行開始から20年以上を経た本市は、このように個性や強みにさらなる磨きをかけ、都市としての成熟を深めていくステージを迎えています。

また、ライフスタイルの多様化や高齢化の進行等、生活を取り巻く環境が大きく変化する中、市民一人ひとりが生涯を通じて健やかでいきいきとした生活を営むことができるまちの実現が重要となっています。

現在、全国的に平均寿命が伸びていますが、本市でも地域の環境や社会資源を活用したシニア層の健康づくりに取り組んでおります。一例を挙げますと、「ますます元気教室」や「いきいきサポーター養成講座」等を開催し、高齢者が身近な場所で活動する自主グループの活動を推進し

ております。

シニア層が、身体的・社会的フレイルを予防するとともに心身機能の維持・向上に取り組み、健康寿命の延伸と生活の質の向上を図っていくことができるよう、今後も機会創出に尽力してまいります。

会員の皆様には、長年培ってこられた技術や経験をいかしていただくことに加え、就業以外にも親睦会やボランティア活動等、これからも地域とつながることにより、健康で充実した日々を過ごしていただきたいと考えております。

シルバー人材センターにおかれましては、引き続き高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って活躍できる環境づくりに取り組んでいただくことを期待しております。

最後になりますが、会員の皆様が新たな年をお元気で御活躍され、より佳き年となりますようお祈り申し上げますとともに、シルバー人材センターのますますの発展を御祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 令和4年度上半期事業実績

令和4年度上半期事業実績は次のグラフのとおりです。青が前年度、オレンジ色が当年度のグラフです。

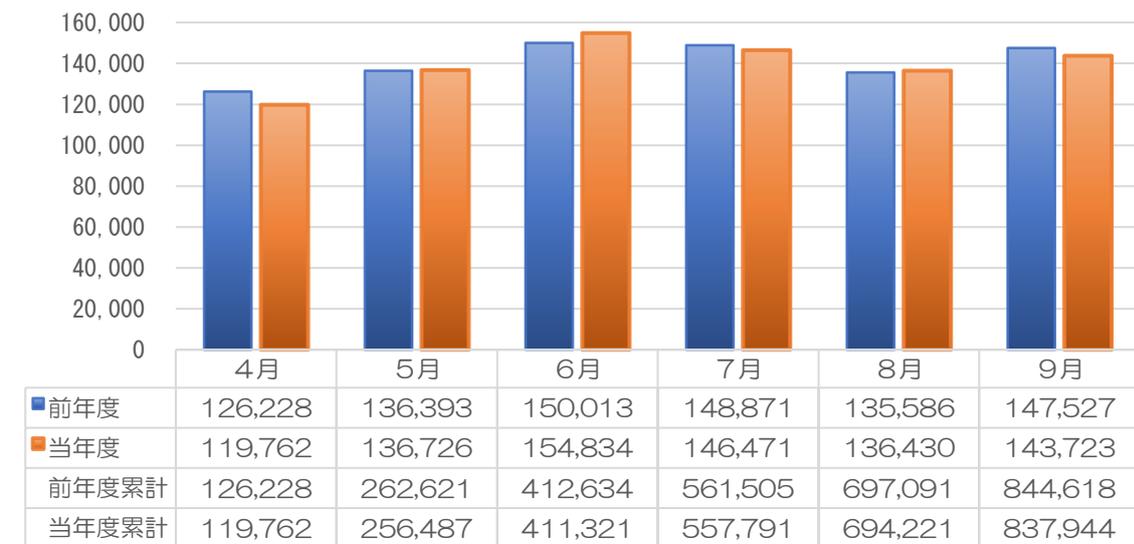
契約金額は9月までの累計が8億3,794万4,132円で前年比99.2%、金額にして約600万円の減となっています。(図①) 請負・委任が伸び悩む中(図③)、派遣事業は順調に伸びています(図④)。

図⑤は上半期契約金額のうち代表的な職群を抜粋したグラフです。植木剪定作

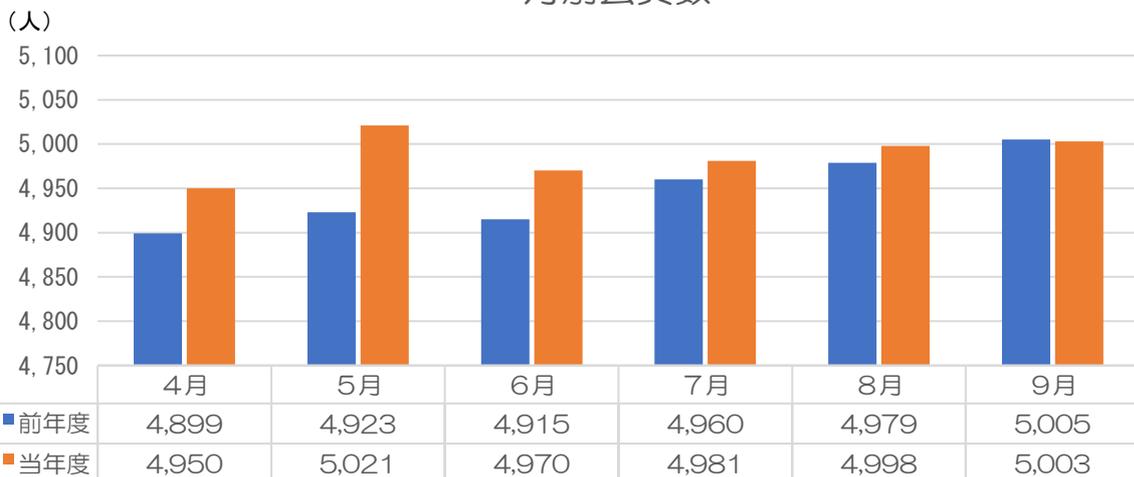
業や除草作業についてはほぼ横ばいですが、屋外清掃・屋内清掃は、前年にくらべ減少してしまいました。一方、施設管理は公民館の利用制限が無くなった等の理由により増加しています。

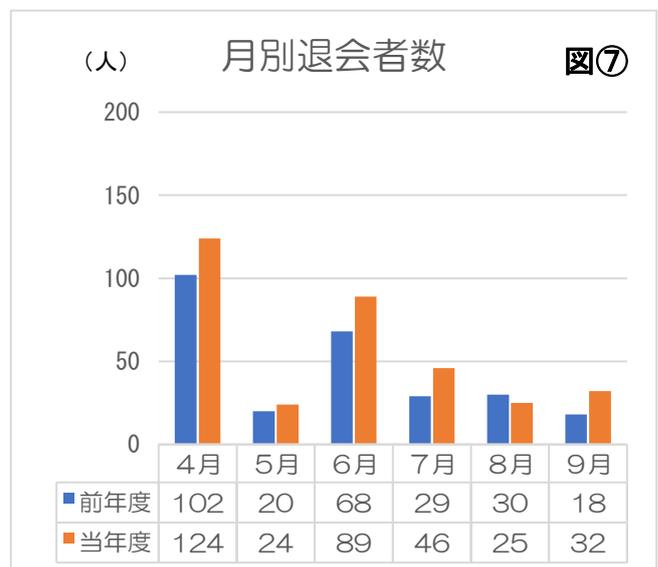
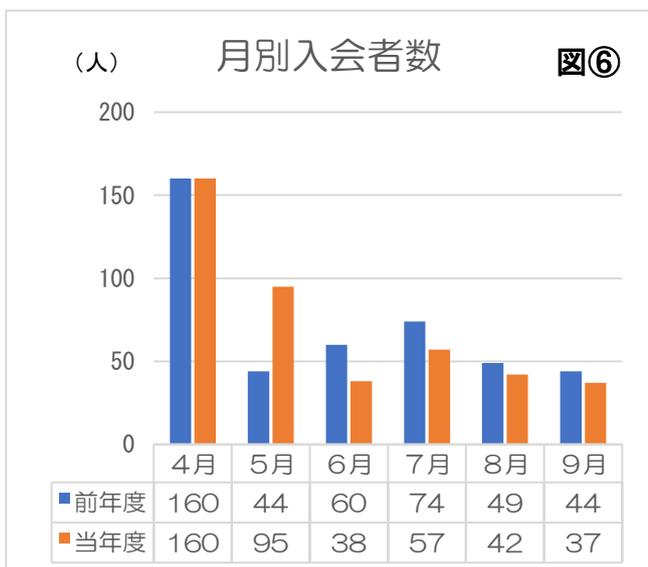
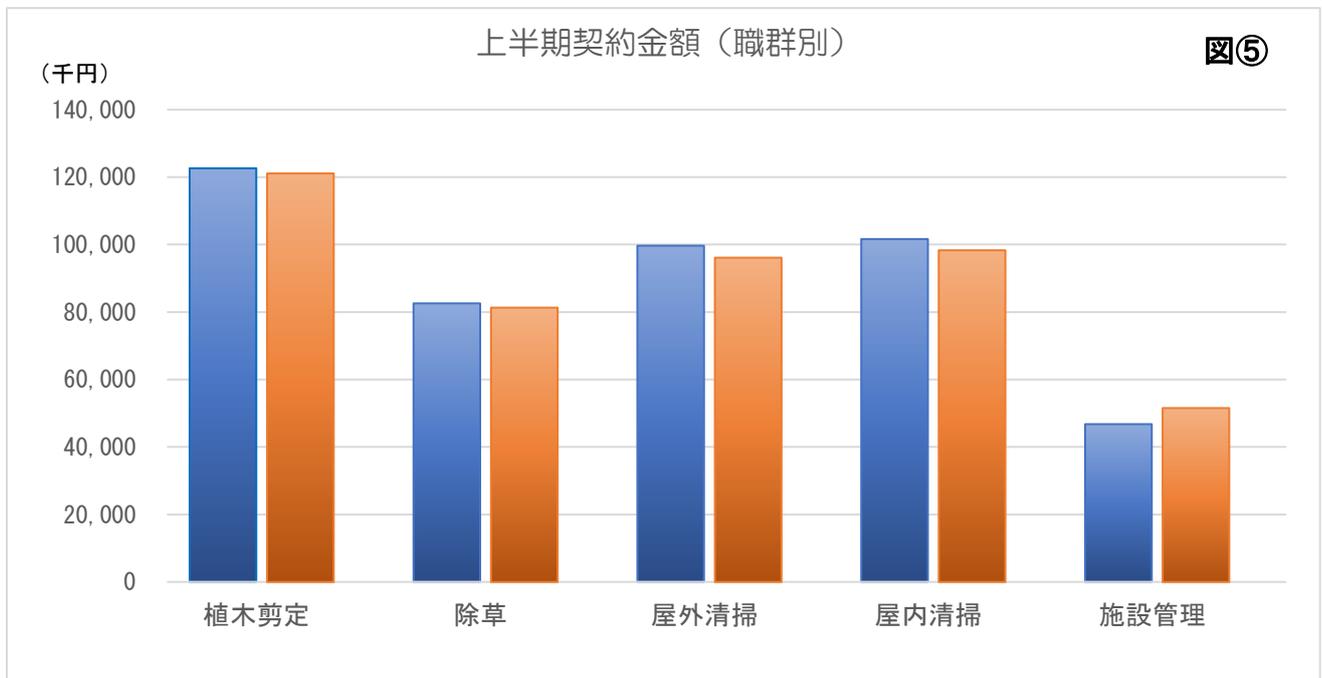
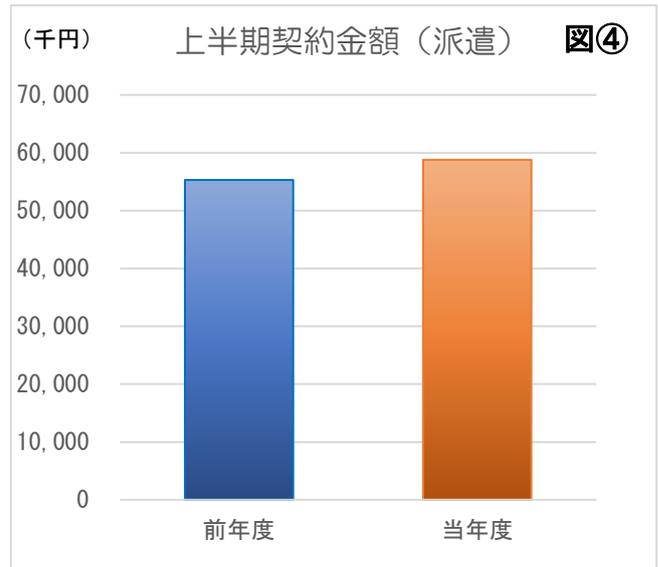
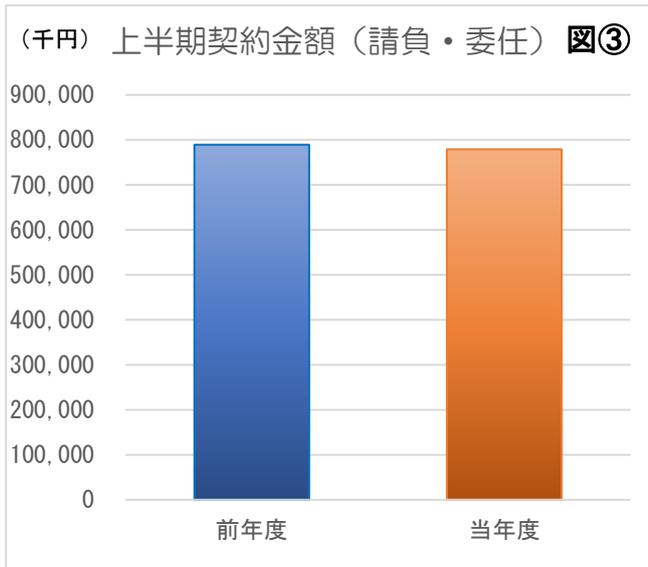
会員数は5月に前年比で約100人増となっていました(図②)、6月以降は入会者数の伸び悩み(図⑥)、退会者は前年を上回ってしまい(図⑦)、9月末時点ではほぼ前年並みとなっています。

上半期契約金額(請負・委任・派遣) 図①



月別会員数 図②





## 各種講習・研修

次のような講習や研修が、今年度上半期に実施されました。

### 会員講習・研修

当センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習や研修です。

#### ① 刈払機取扱研修

7月21日 20人参加

会場・にぎわい交流館いわつき  
七里総合公園



#### ② パソコン講習

エクセル入門

6月8～10日 10人参加

会場・与野事務所

初めてのパソコン

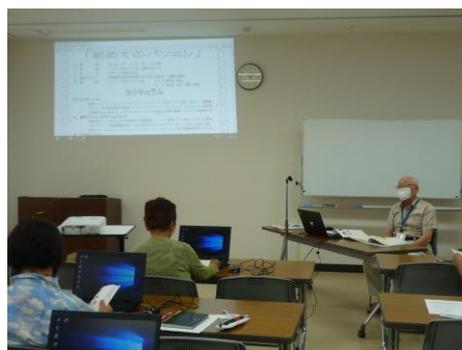
7月4～6日 10人参加

会場・高齢者生きがい活動センター

ワード入門

7月24～26日 4人参加

会場・与野事務所



#### ③ アンガーマネジメント研修

9月12日 午前 21人参加

午後 20人参加

会場・さいたま市民会館おおみや



アンガーマネジメント研修とは、怒りの感情をコントロールし、より良い関係性に繋げる研修です。

#### ④ 接遇研修 29人参加

9月12日

会場・大宮ふれあい福祉センター

### 高齢者生きがい活動センターの研修・講習

さいたま市シルバー人材センターが指定管理者として管理している高齢者生きがい活動センターの事業です。

さいたま市内の高齢者に対し、各種研修及び技術指導を行うことにより、就労の支援や地域活動を援助します。

会場は全て高齢者生きがい活動センターです。

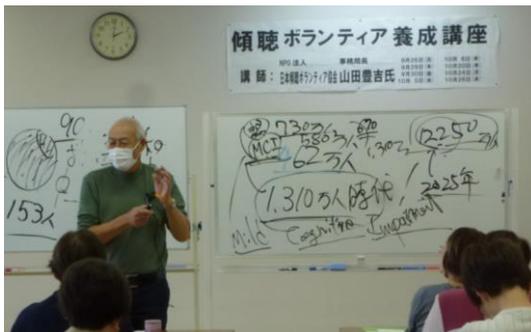
① 傾聴ボランティアスキルアップ講座  
28人参加

7月12日、19日、26日

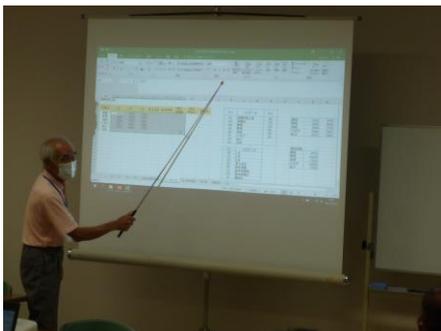


② 傾聴ボランティア養成講座  
33人参加

9月26日、29日、30日、  
10月5日、6日、20日、24日、26日



③ パソコン講習  
初めてのパソコン  
6月20～22日 8人参加  
エクセル入門  
7月27～29日 8人参加  
ワード入門  
9月5～7日 8人参加



市民向け研修

当センター主催の一般市民向けの研修です。受講者の一部はシルバー人材センターに入会して、植木班として活躍しています。

植木職人養成研修 36人参加

座学 6月17日

会場・浦和事務所



実技 6月20日、21日

会場・障害者交流センター



研修の実施に当たっては、手指消毒、マスクの着用、身体的距離の確保など基本的な感染対策をするとともに、定員を減らすなどして、感染症対策に配慮して実施しています。

## 接客を通して人との

### ふれあいができる喜び

社会福祉法人埼玉福祉事業協会の高齢者障害者共生事業（活動応援プラン）である浦和区の喫茶ルーム「あかしあの森」に就業されている中野恵子さん、三枝ヒロ子さんにお話を伺いました。

中野さんは6年前、三枝さんは3年前から就業しています。コロナ感染症の影響でルーム自体が休業となりましたが、コロナ感染者の減少により、ようやく再開されたとのこと。

現在は計6名でシフトを組まれ、お二人がリーダーとなり早番（10時30分～13時）遅番（12時～17時）のローテーション、ただしお昼の繁忙時は2人体制で従事されているそうです。

内容は商品販売（パン・焼き菓子・コーヒー）と接客です。「お客様の8割近くが高

## 会 員 紹 介

浦和会員 中野 恵子 さん（写真右）

みつえだ

三枝ヒロ子 さん（写真左）

齢者ですので言葉使いと速やかな対応をするよう心掛けている」と言われました。



前職は、中野さんは事務関係、三枝さんは百貨店のインフォメーションの仕事をしていました。健康の秘訣は徒歩、自転車通勤で運動不足を解消。また接客により人とのふれあいが楽しみとおっしゃっていました。

休日には中野さんは近所の仲間とお茶会など、又、趣味は水泳だそうです。

三枝さんは公園散歩とお子様達との外食が楽しみだそうです。健康で明るい元気なお二人です。（取材・吉川編集委員）

## 笑顔と脳活

角田さんは、傾聴ボランティア講習会の受講をきっかけにシルバーに入会し、「あゆみ」に所属して活動を続けています。

一方、就業は単発もの中心にしています。現在は防火安全協会で、毎月1～3回開催される防災管理責任者の講習会で就業しています。仕事は受講者130名程のテキスト配布です。気を付けているのは、数冊あるテキストをきれいに揃え、机に均一に置くようにしています。

年間就業日数がさほど多くない単発作業を中心に長く続いているのは、毎回主催が異なる毎に、異なる年齢層、職業等のたくさんの参加者に会えるのが楽しみだからだそうです。更に、就業するには健康や身だしなみに気を配り、段取りを考えるなど体も頭も使いますから、生活に適度な緊張感と張りがで

## 会 員 紹 介

大宮会員 <sup>つのだ</sup> 角田 佐枝子 さん

きました、と笑顔で答えてくれました。

趣味をお尋ねするとまず映画鑑賞。大画面、大音響の興奮は劇場に足を運んで



の賜物とか。次が最近覚えた麻雀だそうです。シニア大学卒業のOG仲間卓を囲むそうです。自分の役手を作りつつ、相手の手の内を読むのに頭を使います。「脳活そのものです」だそうです。手芸も好きなので、女子会にはできる限り参加したい。外に出てコミュニケーションをとりながら、元気に年を取りたい、とおっしゃる角田さんでした。

（取材・後藤編集委員）

## 仕事を一生懸命やることこそ

### 健康の秘訣！

前田さんは、東武バスウエスト株式会社の岩槻営業所でバスの車内の清掃作業に従事しておられます。米寿を迎えられましたが、リーダーとして総勢 12 名の仲間の皆さんを引っ張って元気に頑張っておられるようで、返ってわたしのほうがその元気をいただきました。

バスの清掃は車内の窓の拭き掃除、床のモップ掛けという作業ですが、バス 1 台の窓の数が 36 枚程度で一日あたり 10~12 台をこなしますので、ざっと 360~400 枚の窓を清掃する計算になります。それに床面のモップ掛けをくわえるとかなりの業務量になるのではと想像されます。それを日別の就業予定表に従って、毎日午前組と午後組（各 2 名ペア）に分かれて業務を遂行されているとのこと。ご苦勞をお聞きしました。

## 会 員 紹 介

### 岩槻会員 前田 恒夫 さん

以前は夏場の車内清掃時はエアコンの使用が認められていたそうですが、アイドリングストップもあるためエアコン不使用になり、夏場は大汗をかき、冬場は水を使っての作業はかなりつらいものがあるとのことでした。ただ、動き回ることが健康的な生活を支えてくれるという信念のもとに、元気なうちはこの仕事を続けていきたいと、また、チームで仕事をする以上、良いチームワークを築き、育んでいくことの重要性を強調しておられました。



私も今回お話をお聞きして参考にしたいことが沢山ありました。まだまだ元気で頑張ってください。（取材・井筒編集委員）

## 質の高い医療・介護の提供を通じて・・・

**地域のしあわせ創りに貢献します**を理念に活動する、ケア大宮花の丘に岡崎利春様をお訪ねしました。取材したのは祝日でしたが、施設内では多くの利用者と職員が見受けられました。施設の性質上、年中無休で、運営に当たるため医師・介護職・看護職・リハビリ職・ケアマネジャー・相談員など多彩な職種の職員約 125 名を擁しているとのことでした。

提供されるサービスとしては、まず入所・短期入所サービスがあります。合わせて 150 名の利用者の介護サービスが可能で、全 60 室が用意されています。次に通所リハビリサービスでは、80 名の利用者のリハビリを行っています。自宅でのリハビリができる訪問リハビリサービスや、ご家庭で介護サービスを利用しながらの生活を支援する居

## お 客 様 の 声

### 介護老人保健施設 ケア大宮花の丘 様

宅介護支援サービスも実施しています等の説明がありました。

当施設では長年シルバー会員に就



業して頂いていて、仕事の内容をお聞きすると、「シーツの交換です。かなり重労働なので、6 人ローテーション、4 人就業、週 3 日でお願いしています」「シルバー会員ならではの気遣いを感じています」とのことでした。

利用者、職員、シルバー会員がお互いに思いやり、助け合う、そんな暖かい雰囲気を感じて施設を後にしました。

（取材・後藤編集委員）

## シルバーで屈指の 規模と実績のある仕事

中央区八王子にある、かやのき住宅で、管理組合理事長の山谷勝様と管理組合生活理事の南里久美子様にお話を伺いました。

同住宅は全 440 戸。メタセコイア並木や公園・テニスコートなどもある広大な敷地内の清掃がシルバー会員の業務で、折枝などの回収も行います。就業は平日 9 時～17 時、祝日は半日で、7 人でローテーションを組んでいます。

1980 年にできた同住宅は大きな木々が多く、「ここまで大きくなるとそれはそれで作業が大変になります」。そこで、基本は 1 日 3 人就業ですが、秋の枯葉の時期だけ 1 日 4 人体制で就業します。

管理組合の窓口スタッフは女性 1 人での任務のため、男性のシルバー会員は頼もしい存在です。女性が触れにくい野生動物の

## お客様の声

かやのき住宅管理組合 様

死骸を片付けたり、事務所トイレのドアを修理するなど、「ご年配ではあるけれど、いろいろ率先して行動してくれ



てありがたいし、みなさん若い!」。また「住民からもお声がけいただき、あいさつもされていますね」。

ご信頼いただくシルバー会員への要望として「暑い時期の熱中症などが心配なので、健康に気を使って欲しい。無理をせず、これからも休みなくやり続けていただきたい」。

(取材・小野塚編集委員)

## 視聴覚ホールを備えた、さいたま市 で最大規模を誇る公民館です!

旧 16 号線沿いにある岩槻本丸公民館の遠藤館長にお話を伺いました。

本丸公民館は岩槻区の温水プールに隣接し、白壁と瓦屋根というかつての城下町岩槻の風情を感じさせてくれる素敵な建物です。開館は平成元年(1989年)ですから 33 年ほどたちましたが、建物内部もリニューアルされ、明るく清潔な印象です。

私自身は隣接する温水プールは何度か利用しているのですが、公民館は全く縁がなかったこともあり、公民館というものについて色々教えていただき勉強になりました。まず、さいたま市内には公民館が 60 あること、本丸公民館はその中でも敷地、延床面積が最大規模の公民館とのこと。また、公民館は社会教育施設なので営利目的、特定の政党、宗教の利害につながる団

## お客様の声

岩槻本丸公民館 様

体は利用できません。

事前に団体について審査を行った上で登録がなされて初めて利用が可能になります。故に施設の使用料は一切かかりません。



さて、シルバー会員の仕事ですが、職員の方が勤務を終了した月曜日から土曜日の夜、及び日曜日・祝日の朝から夜までを 5 名の会員が交代で就業しています。70 歳代が中心ですが、皆さん協力的でよくやってくれるとのことのお褒めの言葉をいただきました。また、5 名の会員以外に、最新の音響、照明設備を備えた視聴覚ホール(定員 188 名)の機器操作専任の会員の方が 3 名、月に数回程度業務にあたっているそうです。

(取材・井筒編集委員)

## 地域班

### これからも地域のお役に立てるように

当地域は、中央区の西側に位置し、本町西・上峰・桜丘・八王子・円阿弥の5つの地区を担当しています。7班で構成されていて会員数は約100人、会員の皆さんは、いつも元気で心やさしい思いやりのある人達ばかりです。

私は地域長になって1年半ほどですが、コロナ感染の影響により、計画していた年2回の地域会議はまだ一度も開催できていません。しかし、奉仕活動（八王子公園の清掃）は今年度も1回目は5月22日（日）、2回目は10月16日（日）に行い、1回目は17名、2回目は23名の参加をいただきました。公園に来ていたお子様連れの方から、「子供たちが遊ぶ公園をきれいにさせていただいて有難うございます」と感謝の言葉をかけていただいた時は、とても嬉しかったです。

### 中央区第三地域 秋庭 かつ江

また、7月には与野事務所で班長会議を行いました。その際、令和4年4月に改訂された「安全のしおり 第3版」の詳細説明を三原所長から聞いて勉強させていただきました。

私自身まだまだ分からないことが多いですが、先輩地域長さんをはじめ、班長さん、会員の皆さんのご協力を得ながら、これからも地域のお役に立てるように頑張りたいと思います。



### 会員相互の触れ合いの場を大切に

令和5年度から始まる第3次中期計画について、センターと地域長の意見交換が行われました。そこで示された3つの基本方針のひとつに「『はたらく場』『まなびの場』『つどいの場』を充実させ、仲間を増やし、一人ひとりの“生きがい”や“健康維持”につなげます」とあります。実に的を射た方針だと思います。

この間、コロナ禍の影響を受けて、2年間以上、会員相互の触れ合いの場である地域会議や奉仕活動が開けませんでした。昨年の5月、10月の奉仕活動には、ほぼコロナ禍以前に近い参加人数があり、内心ホッとしたところです。

顔なじみの参加者は、お互いに旧交を温めて話が弾んでいました。「あっ、これがシルバーの大事な『つどいの場』なんだ」と

### 南区第四地域 内藤 勝義

改めて理解しました。

コロナ禍の中で国民の分断が進み、とりわけ高齢者は社会生活から孤立しやすくなっています。一昔前までは長寿社会を喜ぶことが当然のことでした。しかし最近では、それを疎む風潮が強くなってきていると感じるのは私だけでしょうか。私たちシルバー会員は、健全な精神と肉体の維持に努め、胸を張って社会の一員として頑張りたいものです。



## 親睦互助会

### 3年ぶりの「会員作品展」開催

浦和支部の主な活動は、例年、旅行（日帰り、一泊旅行を交互に）・会員作品展・新年懇親会等、行っていますが、「新型コロナウイルス」感染拡大により、令和2年より活動を自粛しております。

未だ「コロナウイルス」の感染状況は安心とは言えませんが、今年度は感染対策に万全を期して「会員作品展」を10月24日（月）～28日（金）の5日間、岸町公民館1階展示ホールで3年ぶりに開催しました。

「コロナ禍」の影響か、出展会員数27名、出展作品数53点と、例年より半数ほどでした。

書・水墨画・陶芸・手工芸品・写真・絵画・盆栽・模型など多彩な作品を展示しました。

### 浦和支部 宮本 和勇

来賓として、本部事務所より佐藤局長・鶴川課長、浦和事務所より、田中所長他職員3名の方にご来場いただきました。

総来場者数も延べ約200名（会員50名・一般150名）の方が見え、盛況に開催する事ができました。

また、浦和支部では、会員相互の親睦を深める目的で、令和元年度に「互助会サロン」（6クラブ）を発足、浦和事務所三階会議室を借用し、月一回開催しております。



### 四支部交流グラウンドゴルフについて

さいたま市全体の親睦互助会の推進役として親睦互助会メンバーが各支部から3名ずつ出して半年に1回打ち合わせを行っています。

シルバー人材センターさいたま市全体で実行しているのは唯一四支部交流グラウンドゴルフ大会だけです。各支部ではコロナ前までは旅行、カラオケ、見学会、ハイキング、音楽会、歩こう会、そば打ち会、グラウンドゴルフ、音楽鑑賞会等各地域別に実行していましたが、現在では特に飲食を伴う集まりは無くなりました。

前回の親睦互助会の打ち合わせの時に四支部のグラウンドゴルフ開催場所は遠くなるので行けなくなるという話がありました。車での相乗りも高齢者運転となり万一の事故の対応も考えなければと思います。

### 大宮支部 奥田 善七

私も人を乗せて行きますが、万一の時は自分の車の保険金しか出せないと言って乗せています。

各支部の親睦互助会費もあるのでミニバスをチャーターして費用を捻出したらとも思いました。

前回、令和4年5月18日の大会は参加者63名、平均年齢は79.3歳でした。

今後グラウンドゴルフを進めていくため各支部と打ち合わせをして方向を決めたいと思います。



## 災害は忘れたところにやってくる ～防災グッズを配布～

与野支部 山内 忠義

親睦互助会与野支部は、会員の福利厚生  
の充実と健康増進を主たる目標にしていま  
す。東日本大震災から11年、「災害は忘れ  
たところにやってくる」と言われますから、  
今年度、会員の皆さんが防災・減災に役立  
つ資料を作成して会員全員に配布するこ  
とを役員会で決めました。

作成した資料は、「①災害時指定避難場所  
及び各家庭における緊急持ち出し物品一覧  
表」、「②中央区に所在する災害関係機関  
名と電話番号及び住所一覧表」、また中央  
区は歴史的に見て水害の発生する度合いが  
高いため、中央区役所のご協力を得て「③  
水害に関するハザードマップ」と「④中央  
区ガイドマップ」をいただき、これに「⑤  
支部会員ニュース第8号」を添えた以上5  
点をセットにしてビニール・ケースに入れ、9

月1日の「震災記念日」に合わせて9月上  
旬に会員全員に配布しました。ビニール・ケ  
ースには配布元のアイデンティティーを  
表示するため、親睦互助会のシンボルマ  
ークを考え、貼付しました。

また今年度は、研修バス旅行（時節柄  
アルコールなし）を3年ぶりに実施し、  
「首都圏外郭放水路」「関宿城博物館」  
「岩槻人形博物館」等を見学しました。  
とても中身の濃い研修旅行となり、参  
加者からは大好評でした。



## 岩槻やまぶきまつり参加

岩槻支部 井村 詩

親睦互助会岩槻支部みどり会の活動は、  
会員の皆様が毎年楽しみにしている日帰  
り旅行、新年会など全ての行事が中止と  
なっていました。そのため、会員全員にマ  
スクを配布することにしました。

みどり会の行事は中止になりましたが、  
10月16日（日）4年ぶりに岩槻区主催  
のやまぶきまつりが秋晴れの下、開催さ  
れ、みどり会の役員は5名が参加し、会  
員募集・仕事のチラシ等を配布しまし  
た。久しぶりのまつりとあって若い人  
たちが多く遊びに来ていました。

シルバー人材センターでは岩槻手芸班  
のブースを設け展示、販売をしました。多  
くのお客様で賑わい、数多くの手芸品  
が売れていました。

今回は、コロナの関係で姉妹都市の物産

品の販売もない中で岩槻産の野菜など  
を買っていく人が多くいました。

参加された会員の皆さん本当にご苦  
労様でした。



## 女子会だより

女子会とは、さいたま市シルバー人材センターの女性会員自らが主体となり交流の場を設け、会員活動を活発化させることで、女性会員の入会促進、仲間づくりなどにつなげるため実施しているものです。

コロナ禍で思うように活動できないこともあります。少しでも開催できるよう工夫を凝らしております。多くのご参加お待ちしております。



(陶芸体験教室(2022.10.20 大宮事務所))

### ♡ 令和4年度の開催 ♡

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

#### <浦和事務所>

2月実施予定 折り紙

#### <大宮事務所>

7月7日(木) 13時から

大宮鉄道博物館見学(ガイド付き)

11月15日(火) 13時から

陶芸体験教室(大宮事務所)

3月頃実施予定

お花見とお茶会(大宮公園)

#### <与野事務所>

6月16日(木) 10時及び13時から

手作り保冷バック作り

10月20日(木) 13時から

秋のバラ鑑賞会(与野公園)

2月16日(木) 13時から実施予定

褒められスイーツ(マドレーヌ)作り

(与野本町コミュニティセンター)

#### <岩槻事務所>

7月28日(木) 13時から

「聞いて、なるほど! マヨネーズのお話

(講師: キューピー株)」とプチ体操

(にぎわい交流館)

2月頃実施予定 踊り「長生き音頭」

(にぎわい交流館)



(「聞いて、なるほど! マヨネーズのお話」とプチ体操 2022.7.28 にぎわい交流館)



(秋のバラ鑑賞会(2022.10.20 与野公園))

# 安全だより

令和4年度上半期事故状況は右のとおりです。前年度と比較して、賠償事故は減少しましたが、傷害事故・車両事故は増加し、合計は26件で1件増加しました。

傷害事故に関しては、就業中の転倒によるケガが5件、また就業途上でも自転車による転倒が4件発生しています。加齢による体力の衰えや、認知能力の低下を意識し、作業や就業途上には十分注意しましょう。

賠償事故に関しては、刈払機による事故4件のうち、飛び石による事故は3件でした。いずれの事故も、安全のしおり第3版の作業別安全就業基準の安全作業のポイントを守らないで作業を行った結果の事故でした。

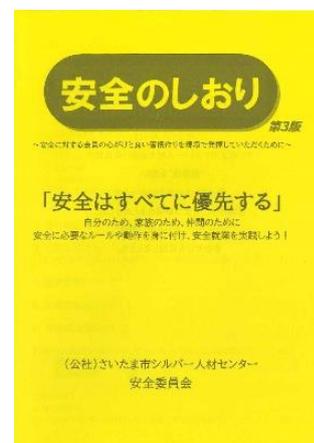
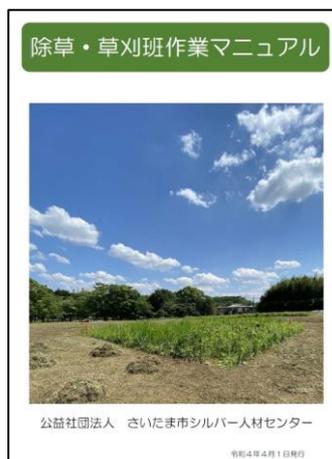
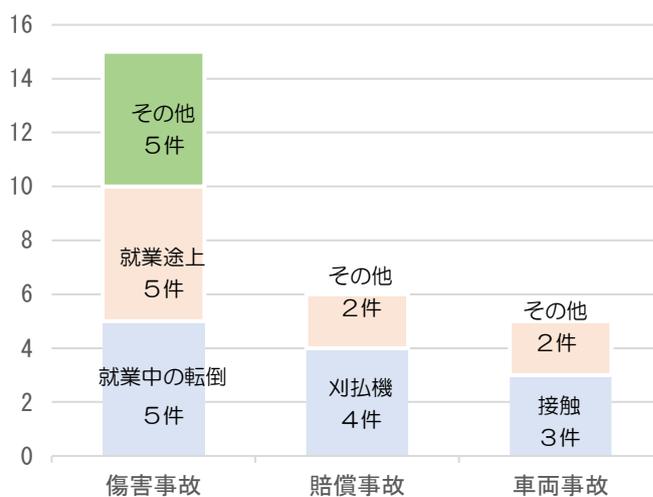
車両事故は、4件発生し、原因は周囲の確認不足による事故や車間距離の不足による事故でした。

除草作業は令和4年度から除草・草刈作業マニュアル、除草安全マニュアル等を整備し、新たな就業のルールが追加され、必ずルールを守って安全就業に務めていただきますようお願いいたします。

除草作業以外の会員の皆様におかれましても、今後とも安全就業にご協力いただきますよう改めてお願いいたします。

## 令和4年度上半期事故状況

	傷害	賠償	車両	合計
当年度	15	6	5	26
前年度	13	8	4	25
増減	+2	△2	+1	+1



### 令和3年度・令和4年度

#### さいたま市シルバー人材センター安全就業スローガン

- ・大丈夫と 思う過信が 事故のもと
- ・焦るな！ 急ぐな！ 手を抜くな！ ゆるむ心に潜む事故

## 事務局より

### 高齢者自転車安全教室

令和4年11月18日(金)、高齢者生きがい活動センターにおいて、会員研修として高齢者自転車安全教室を実施しました。

一般財団法人日本交通安全教育普及協会様から講師を迎え、高齢者を対象に自転車シミュレータによる危険を予測して安全を確認する重要性の学習や、体力の状態の確認・維持増進を目的とした運動等を取り入れた体験型の交通安全教育プログラムによる講習を行い、午前の部は19名、午後の部は13名の会員が参加しました。



### お客様満足度を実施します

さいたま市シルバー人材センターでは、令和4年度事業計画の一環として、お客様満足度調査を実施します。

今回の調査は、昨年4月より、新たに除草安全マニュアルを作成し、作業のルールが変わりましたので、今年度、除草・草刈り作業をご依頼いただいたお客様を対象に調査を実施しています。

スケジュールは令和4年11月にアンケート調査票を作成し、12月上旬にお客様あてに発送したところです。1月以降、返送されたアンケートを集計します。

集計結果を基に、今後の就業のあり方や、就業開拓につなげていきます。



### 編 集 後 記

明けましておめでとうございます。

新しい年こそ、コロナ収束といきたいものですね。実り多い1年であることをご祈念申し上げます。

さて本誌がリニューアルして1年、タテ組からヨコ組となって「見やすい、読みやすい」などの声もいただいております。これからも、より魅力ある会報づくりをめざしますので、ご感想やご意見、新しい企画案など、どんな事でも結構ですので、お気軽にお寄せください。(本部事務所会報担当まで)

### 表 紙

#### 見沼の花づくり

見沼区の農家では、花の栽培が盛んです。見沼田んぼ沿いのあちこちで、日当たりの良い場所にビニールハウス製の温室を見ることができます。

この温室では、新春に需要が多い色とりどりのシクラメンが栽培されていました。